

## 海外安全対策情報(ウルグアイ)2022年第4四半期(10月～12月)

### 1 治安・社会情勢

当地の治安情勢については、2021年と比較すると強盗発生件数は微減しましたが、殺人発生件数が25.2%、窃盗発生件数が1.1%増加しました。引き続き殺人、強盗、窃盗被害に注意が必要です。

また、ウルグアイ各地の治安対策及びDV事案対応件数の増加のため、慢性的な警察官の人員不足が生じているところ、日頃から安全対策の意識を上げることが重要です。

### 2 一般犯罪、凶悪犯罪の傾向

#### (1)殺人・強盗・窃盗

ウルグアイ内務省の発表によると、2022年の殺人、強盗及び窃盗発生件数は、前年と比較すると殺人+25.2%、強盗-5.9%、窃盗+1.1%となりました。

殺人の原因は、犯罪組織間や麻薬密売に関わる抗争や報復によるものが全発生件数の47%を占めており、DV及びDVに起因するものが14%、犯人に対抗する等の偶発的なものが12%、強盗や占拠行為によるもの等が4%、その他が6%となっています(原因不明16%)。これに対し、ウルグアイ全土における麻薬犯罪対策をはじめとする治安対策が進められており、特にモンテビデオ市郊外がその対象地域の中心となっています。

2022年における殺人発生件数が多い県は、モンテビデオ県:216件、カネロネス県:56件、リベラ県:各18件となっております。

また、最も殺人発生件数の多いモンテビデオ県における県警察管轄区域ごとの殺人発生件数は、第17区域:34件、第18区域:26件、第19区域:26件、第8区域:25件、第24区域:24件となっています。

昨今の一般犯罪は昼夜問わずに発生しており、銃器や刃物を使用した事件も増加しています。2022年に発生した殺人383件のうち約60%、強盗23,419件のうち約62%に銃器が使用されています。(ウルグアイ国内において登録済銃は約60万丁ですが、同等数の銃が不法に出回っていると言われていたため、国民の3人に1人が銃を所持している計算となります。)

また、従来比較的安全と言われていた地区においても事件が発生しているため、殺人、強盗、窃盗等の犯罪被害には引き続き注意が必要です。

#### ○2022年の犯罪統計(内務省発表)

- ・殺人 : 383件(前年に比して 25.2%増)
- ・強盗 : 23,419件(前年に比して 5.9%減)
- ・窃盗 : 113,954件(前年に比して 1.1%増)
- ・DV : 38,251件(前年に比して 3.2%増)

#### ○参考

ウルグアイ内務省ホームページ

・2022年犯罪統計

[https://www.minterior.gub.uy/index.php?option=com\\_content&view=article&id=10642](https://www.minterior.gub.uy/index.php?option=com_content&view=article&id=10642)

・2022年における殺人詳細

[https://minterior.gub.uy/observatorio/images/pdf/2022/HC\\_del\\_2022.pdf](https://minterior.gub.uy/observatorio/images/pdf/2022/HC_del_2022.pdf)

・2022年における強盗・窃盗詳細

[https://www.minterior.gub.uy/observatorio/images/pdf/2022/RAPIAS\\_y\\_HURTOS\\_2021\\_vs\\_2022.pdf](https://www.minterior.gub.uy/observatorio/images/pdf/2022/RAPIAS_y_HURTOS_2021_vs_2022.pdf)

(2) 事案一覧(邦人在留エリア対象)

別紙参照。

### 3 テロ・爆発事件発生状況

事件は報告されていません。

### 4 邦人被害の犯罪発生状況

2022年第4四半期において邦人被害は発生しませんでした。

#### <注意点>

強盗事件等は、基本的には夜間の人通りの少ない場所において発生する傾向が強いですが、時間や場所を問わずに発生しています。また、昨今の犯罪には拳銃等が凶器として利用されることが多くなっています。外出する場合には様々な形態の犯罪に遭遇する可能性を念頭に、周囲に警戒しながら行動するよう心がけてください。

### 5 日本企業の安全に関わる諸問題

昨今、ウルグアイ国内において、けん銃や凶器を使用した強盗事件が多発しています。また、一般的に外国人は「裕福」と見られているため、日本企業及びその関係者が強盗や誘拐の標的となる可能性も排除できません。仮に強盗事件に遭遇した場合には、抵抗する・大声を上げる・逃げる等犯人を刺激するような行動はくれぐれも避けてください。

また、日頃より「安全のための3原則」である、「目立たない」、「行動を予知されない」、「用心を怠らない」を心がけ、「自分の身は自分で守る」ことを意識しながら行動することが肝要です。

<犯罪事案一覧(邦人在留エリアを対象とした主なもの)>

発生日時	発生場所	事案種類	概要
10 月 1 日	モンテビデオ県 パルケ・ロド地区	殺人	早朝 4 時 30 分頃、男性(20 歳)が頭部を拳銃で撃たれ路上で倒れていた。同男性は病院で死亡が確認された。
11 月 3 日	モンテビデオ県 サシャーゴ地区	殺人	複数の発砲により負傷した男性(35 歳)が道に倒れているのが発見され病院に搬送されたが、その後死亡が確認された。同男性は前科があった。
11 月 23 日	モンテビデオ県 モンテビデオ港	麻薬密輸	同港の肉用コンテナから、箱に詰められたコカイン 600kg が発見された。右コンテナは、パラグアイからベルギーを経由し、ロシアへ到着予定であった。
11 月 26 日	モンテビデオ県 ビジャ・ムニョス地区	強盗	同地区所在の卸売り業者に銃器を所持した犯人等が押し入り、20 万ペソの現金が盗まれた。
12 月 5 日	モンテビデオ県 ブセオ地区	殺人	道路上で男性(51 歳)が胸を刺され、搬送された病院で死亡が確認された。同男性は 7 つの前科があった。
12 月 7 日	モンテビデオ県 ハルディン・デ・イポドロモ地区	殺人	女性(33 歳)が自宅で死亡しているのが発見された。遺体には複数の刺し傷があった。被害者のパートナーは警察官であり、調査が進められている。
12 月 8 日	モンテビデオ県 全土	麻薬密輸	警察は 11 件の家宅捜査において、モンテビデオ県で主要な麻薬組織の男 5 名と女 1 名を逮捕し、コカインペースト 112kg、コカイン 47kg 及び現金 10,000 米ドル、355,000 ペソを押収した。